分担金・拠出金の名称	【平成27年度新規計上案件】 武器貿易条約(ATT)分担金	
拠出先の国際機関名	武器貿易条約(ATT)事務局	
国際機関の概要	本条約は国際的及び地域的な平和及び安全への寄与等のために通常兵器の国際取引を規制するための可能な限り高い水準の共通の国際的基準を確立し、通常兵器の不正な取引及びこれらの流用を防止することを目的としている。我が国は、2014年5月9日に締結、同年12月24日に条約発効、現在締約国は72カ国(8月13日現在)。条約上の規定により、条約上与えられた責任を遂行するために「必要最小限の組織」の事務局を設置することが定められており、第1回締約国会合に向けた準備プロセスにおいて事務局の設置に関する議論を行っている。8月末の第1回締約国会合において、事務局設置都市が決定する予定。	
	拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標	拠出の必要性及び期待する効果
(1) 成果目標: 我が国重要外交課題である軍縮・不拡散の促進 活動指標: 締約国会合を通じて条約の普遍化と締約国における国内実施強化を促進		<ul style="list-style-type: none"> ●武器貿易条約は、通常兵器の国際取引を規制するための世界で初めての条約であり、我が国が推進してきた責任ある武器貿易を達成するもの。我が国が重視する世界レベルでの武器貿易の透明性を確保することに役立つ。 ●我が国は従来から、実効的かつ幅広い国の参加が得られる武器貿易条約の作成の必要性を主張して、条約交渉も副議長などを務め主導してきた。 ●現在のところ、72カ国が締結し、署名国が130カ国に上っているが、世界レベルでの武器貿易の透明性を確保し、条約の効率的実施を達成するためには、主要武器貿易国を含むより幅広い国の参加を得て、途上国も含む各国の国内実施の強化を図ることが非常に重要である。
(2) 成果目標: 条約の実施に関し、武器貿易の透明化について、我が国の意向を反映する 活動指標: ATTの作成を主導した国としての地位の継続的確保		<ul style="list-style-type: none"> ●武器貿易の透明化を図ることにより、不正な武器貿易を規制し、テロリスト等へ武器が渡るのを防止し、国際社会の平和と安全がより強化される。 ●締約国会議等において小型武器を含む通常兵器の管理強化につき、我が国の意向が反映され、我が国の重要外交である軍縮・不拡散の促進が達成されるようにする。 ●我が国の拠出する分担金が規律を持って効率的に使用されるように、予算管理委員会を設立して、事務局が作成した予算案について、締約国会議で議論する前に、しっかりと議論されるようなメカニズムが導入されることを確保する。また、事務局については、効率性を重視し最小限の規模とするという我が国の立場が反映されるように、事務局職員の数等が増えすぎないようにする。
(3) 成果目標: 効率的な組織・財政マネジメントの実現 活動指標: 財政をコントロールするメカニズムの導入		
(4) 成果目標: 我が国人材の知見、専門性を通じたATTへの貢献 活動指標: 邦人職員の送り込み・採用に向けた取り組みの強化		
2. PDCAサイクルの確保		①Plan: 予算管理委員会及び締約国会議で次年度分予算案を議論、承認。②Do: 我が国の分担金支払。事務局による予算案執行。③Check: 締約国会合において、予算管理委員会及び外部監査による報告による支出及び運営活動の成果を評価。④Act: 予算管理委員会及び締約国会合にて、運営における要改善事項を提言を行う。
担当課・室名	軍縮不拡散科学部通常兵器室	